

# 入院中生徒の願いに向けて ～原籍校とのつながりを通して～



京都市立桃陽総合支援学校  
木邑佳織

5つの  
分教室

本校

訪問  
教育

- 京都大学医学部附属病院
- 京都府立医科大学附属病院
- 京都第二赤十字病院
- 国立病院機構京都医療センター
- 京都市立病院



京都市  
桃陽病院

- 分教室のない  
市内の病院
- 音羽病院
  - 医仁会武田病院
  - 桂病院

など

## 対象生徒の実態

### 【対象生徒】

- ・分教室 中学3年 女子



### 【病状について】

- ・6月初旬より入院。入院予定期間は約1年。
- ・治療・体調により、病室から出られない日が多い。

### 【学習について】

- ・原籍校では成績優秀で、生徒会役員を務めていた。
- ・入院時、志望校ははっきりと決めていなかった。
- ・治療・体調により、分教室への登校時間は限られておりベッドサイドでの1対1の授業が多い。

## 対象生徒の不安

病気は  
治るの  
だろうか

どんな治療が  
あるのだろうか

治療の厳しさ  
見通しの持てない不安

学習が遅れる  
のではないか

学習に対する不安

退院後,  
学習について  
いけるのかな

復学への不安

退院後,  
原籍校に戻って  
うまく友達と  
過ごせるのかな



ICT機器等をつかって支援できないだろうか

ねらい

①体調に合わせた継続的な学習に向けた取組

②分教室・原籍校など同年代の生徒との交流による学習や治療への意欲の向上に向けた取組

③原籍校と連携した復学・進学に向けた取組

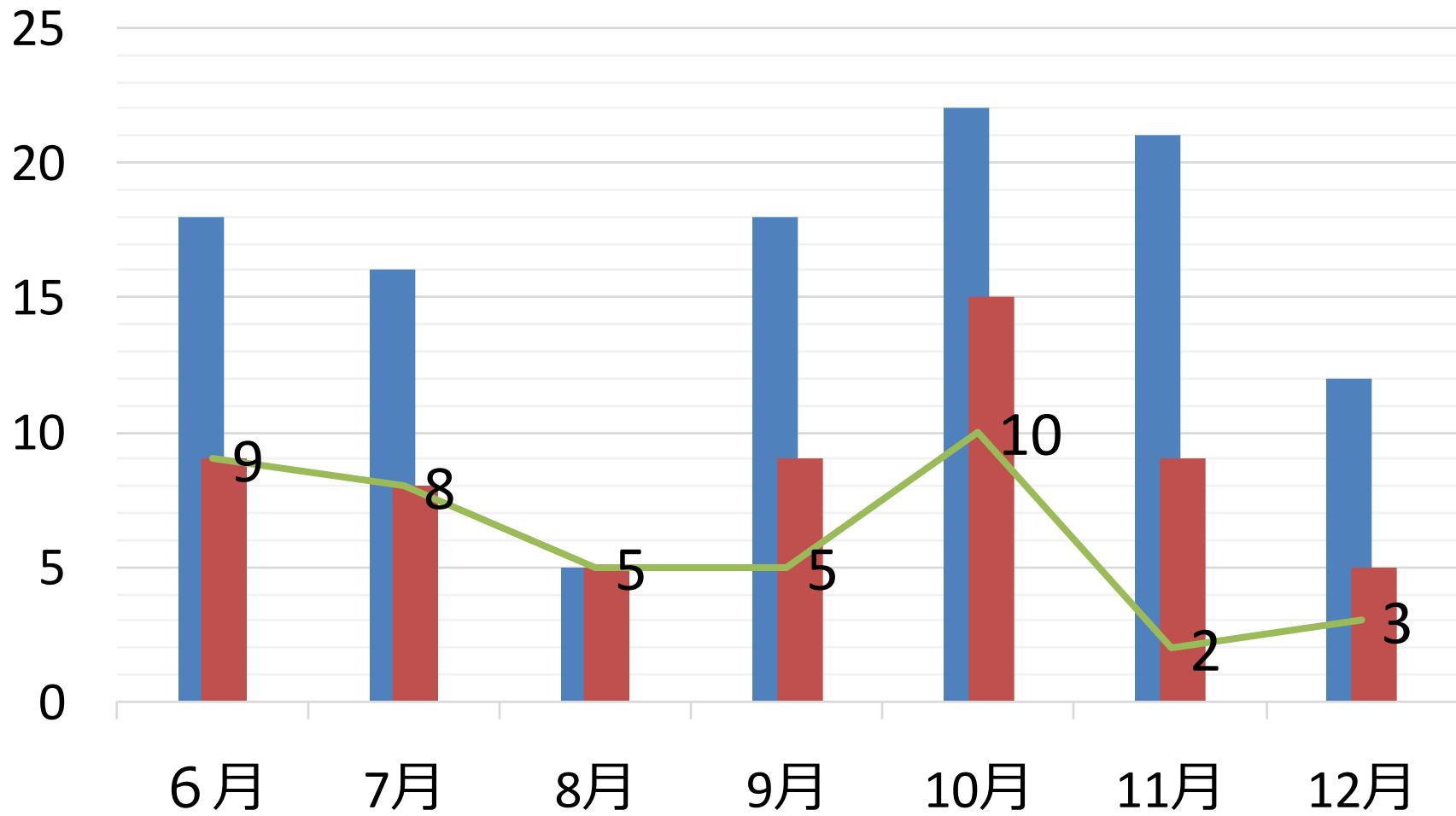
ねらい1

体調に合わせた継続的な学習に向けて

# 登校の状況

6/6～12/18

■授業日数 ■出席 登校 —出席 ベッドサイド

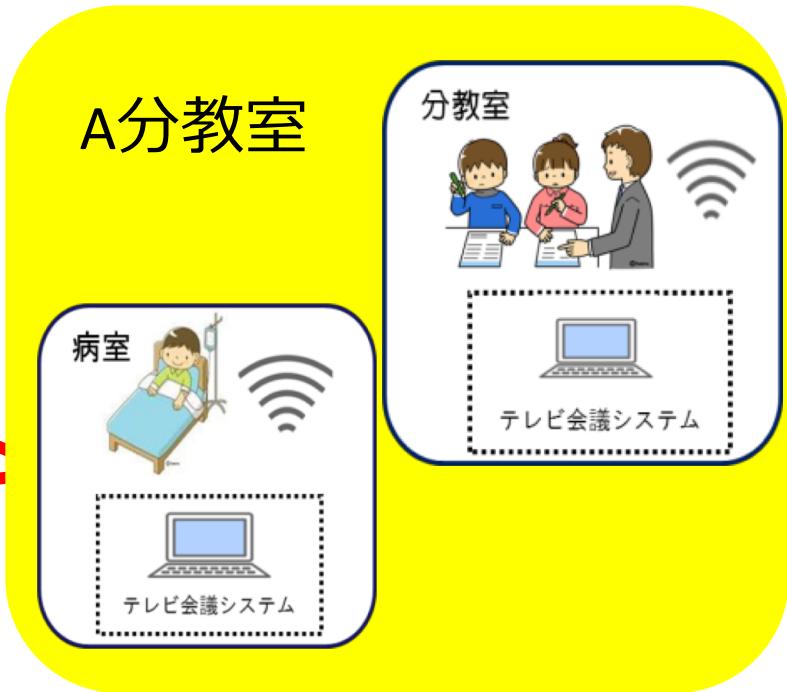


# 学習集団・学習機会保障の図

B分教室



A分教室



C分教室

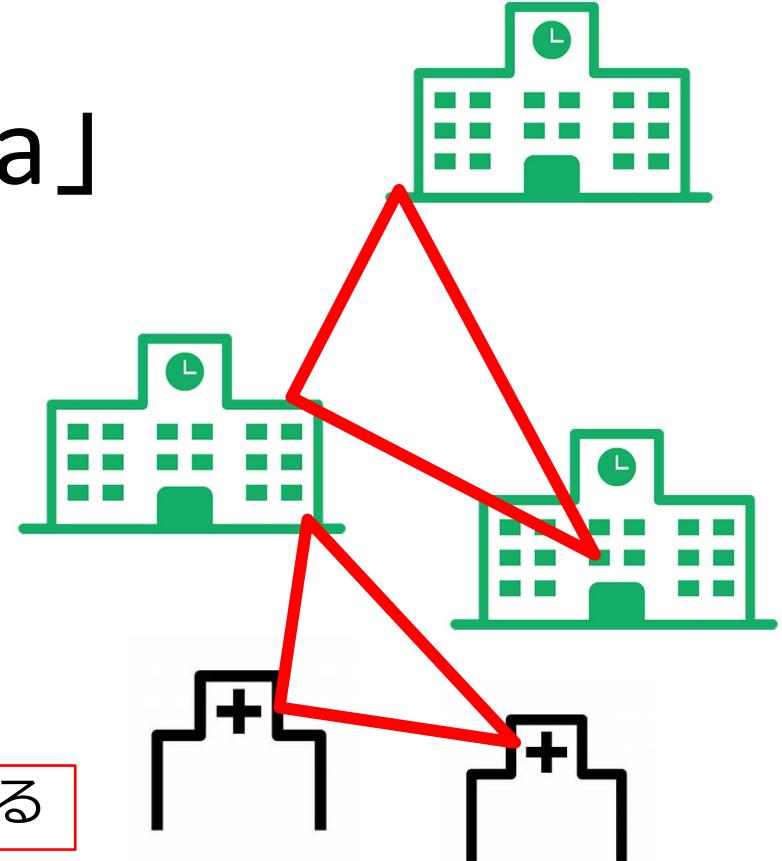


①体調に合わせた継続的な学習に向けた取組 I



## 「meetingplaza」

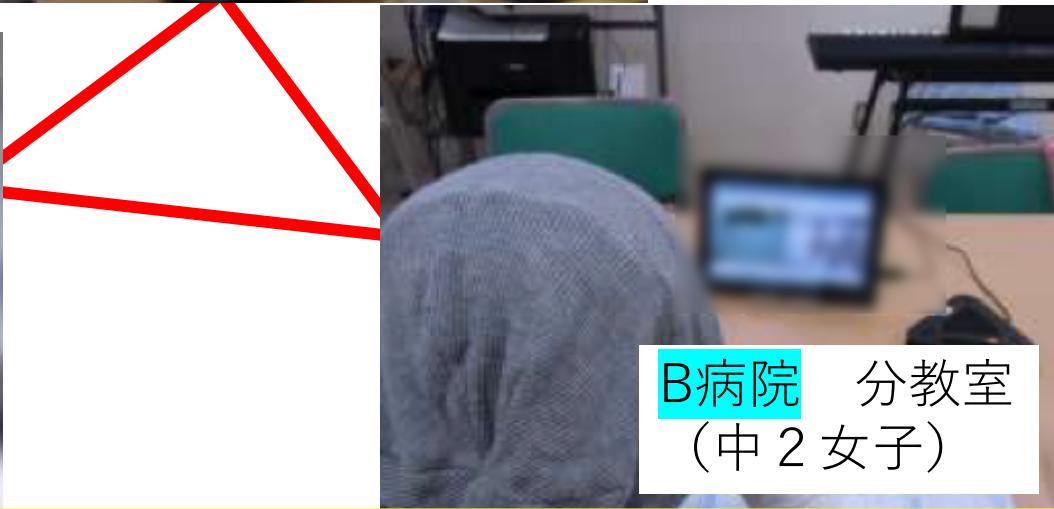
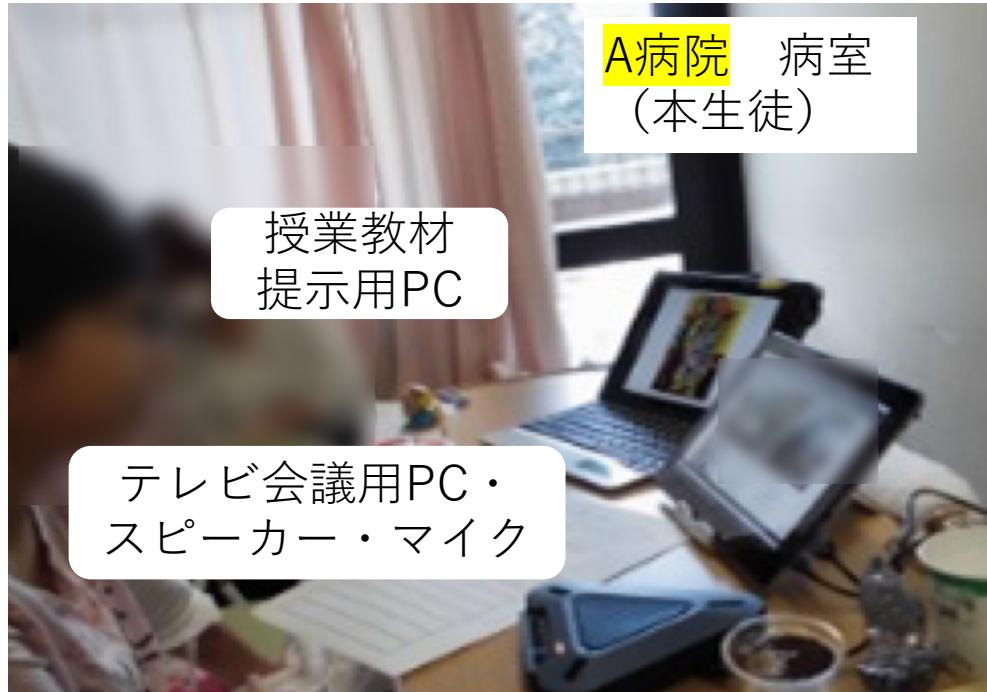
全市の小中学校に配備され  
ているweb会議サービス



当校の分教室と一部病室でも繋がっている

①体調に合わせた継続的な学習に向けた取組 I

# ネットワークを使った学習機会・学習集団の保障



①体調に合わせた継続的な学習に向けた取組 I

## 分教室でのベッドサイド学習を進めるために

ベッドサイド貸し出しセットの使用



①体調に合わせた継続的な学習に向けた取組

# 授業配信動画の活用



「palstep」は、株式会社エデュアスが提供している生徒一人一人の学習レベルに応じて学習を進めることができる小中学生向けのeラーニングシステム。



スタディサプリは、リクルートマーケティングパートナーズが運営している授業動画配信ソフト。

\*研究事業にて当校で試験的に使用している。



どちらもどのくらい学習したかを  
指導者が確認できる

①体調に合わせた継続的な学習に向けた取組Ⅱ

# 生徒の学習状況



月日	教科	内容
7月3日 7月11日	数学	式の展開
	国語	言葉の単位など

スタディ  
サプリ

月日	教科	内容
8/15 (ほか)	国語	漢文
	数学	多項式の計算/文型
	社会	明治時代/第1次世界大戦
	理科	力のつりあい/仕事と仕事率

継続的な学習には繋がらなかつた

①体調に合わせた継続的な学習に向けた取組Ⅱ

## 生徒の学習状況

治療のしんどさや  
体調の悪さもあって、、、

分教室の先生から出される宿題も  
できてない、、、

高校進学もどうしようか、、、



### 取組継続中

現在は高校受検を決定。

冬休み前にもう一度動画配信授業を紹介した。

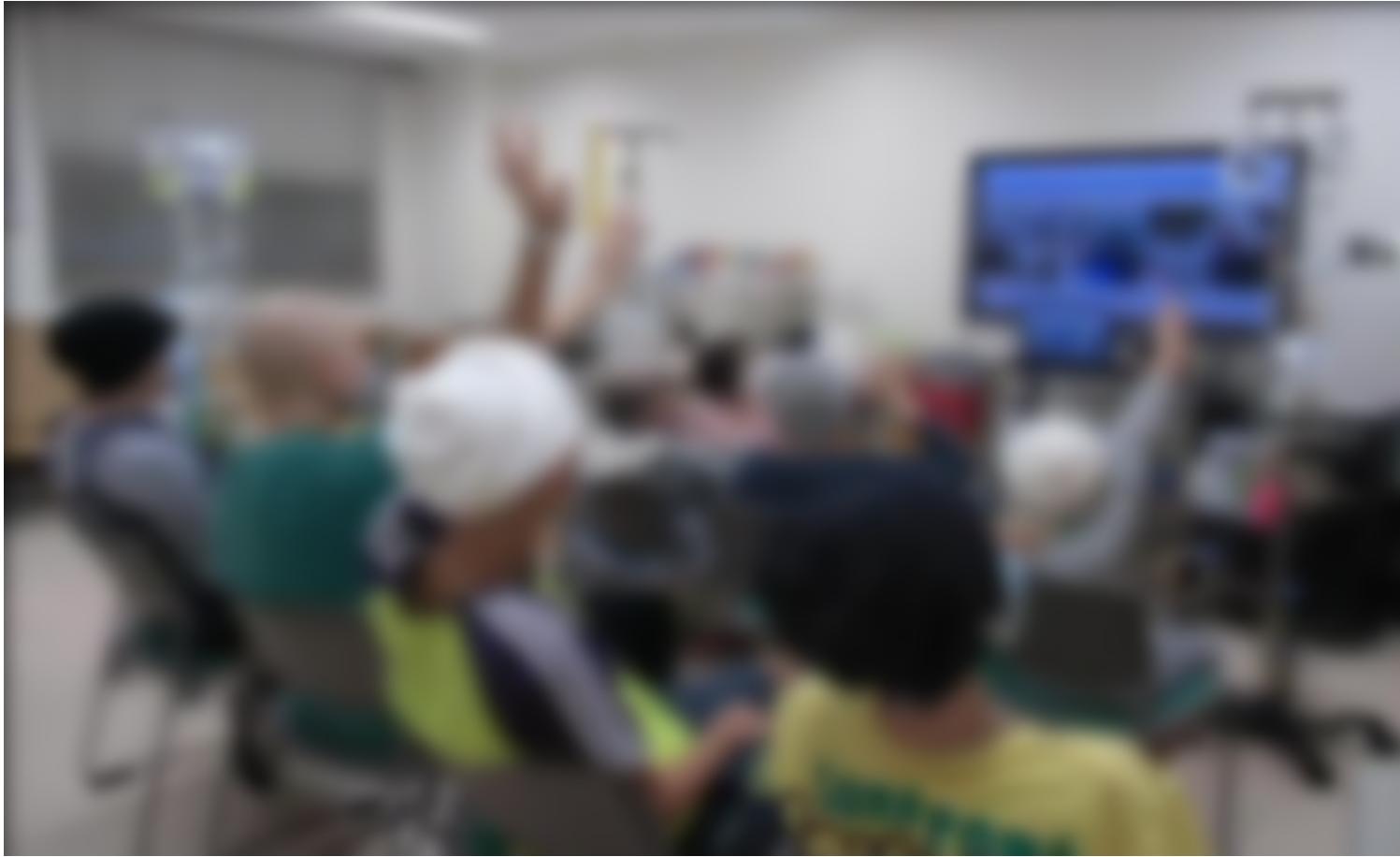
①体調に合わせた継続的な学習に向けた取組Ⅱ

ねらい2

分教室・原籍校など同年代の生徒との  
交流による学習や治療への  
意欲の向上に向けた取組

# 分教室同士をつなぎ学習

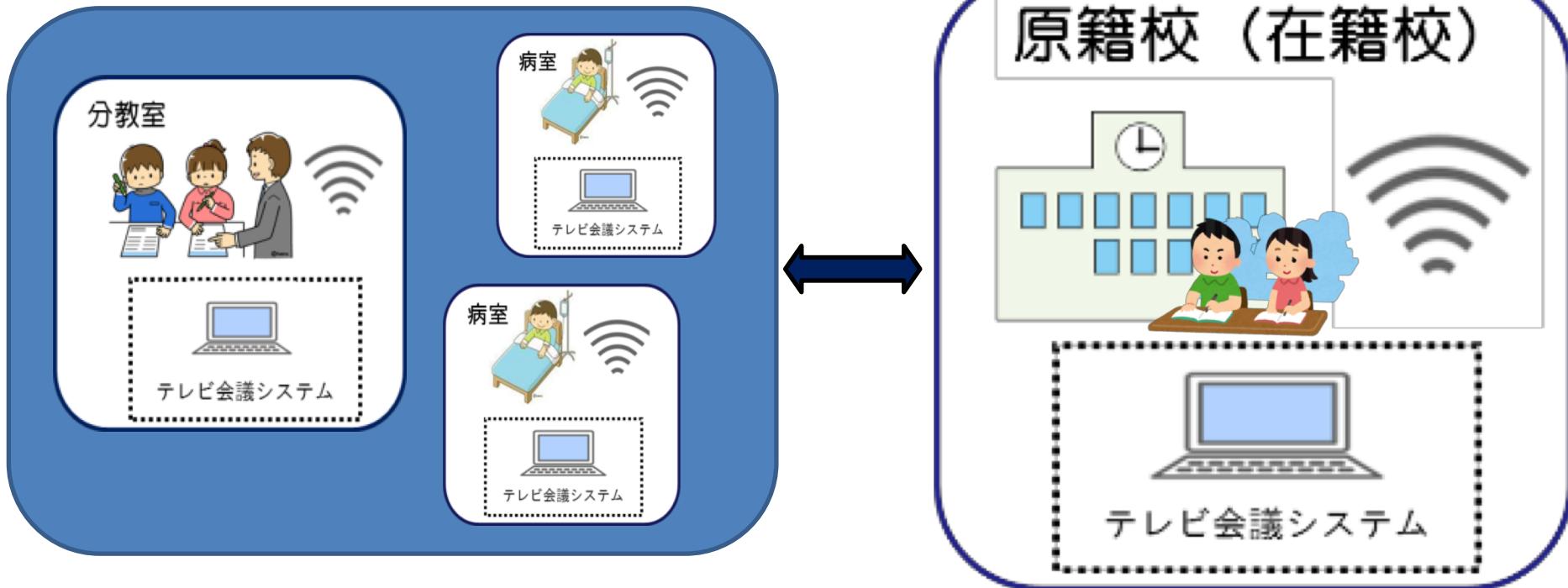
～月1回の分教室集会「ぶんぶんタイム」～



②交流による学習や治療への意欲の向上に向けた取組

# 原籍校とつないだ図

本校・分教室・訪問の病室



ネットワークがない場合は、  
モバイルルーターを使う



②交流による学習や治療への意欲の向上に向けた取組

原籍校との連携に向けて

## 校長先生同士の連絡後

原籍校相談室

簡単に繋が  
るんですね

つなぎ支援の説明や  
I C T のつなぎ設定  
に行きます



育支援センター  
教員など

②交流による学習や治療への意欲の向上に向けた取組

# 原籍校との連携に向けて

## 貸出セットを常備



テレビ会議システムマニュアル

- 1 デスクトップの[mp]のアイコンをクリックする。
- 2 TV会議を行う会議室の一覧が開きます。あるかじめ会議をする権限と決めた会議室のボタンをクリックして下さい。
- 3 ユーザー名、パスワードを入力して、「入室」ボタンをクリックします。なお、ユーザー名は任意の名前を付けることができます。パスワード（――）  
※坂大路小は今回「会議室A」を使用しますので、パスワードはなしです。
- 4 入室すると下記の画面になります。TV会議を行うことができます。  
画面が大きくなっている位置の枠を左クリックしておきながら右側の操作ボタンをクリックして下さい。  
退出マークは、同じ[mp]にしてある、標準に返して居ます。  
音を静音にするアイコンを押す。  
退出する時は、右上の×ボタンで退出してください。

<テレビ会議システムマニュアル>

②交流による学習や治療への意欲の向上に向けた取組

## 原籍校（学活・休み時間など）とつないだ取組 ～担任の先生との交流～



安心感



所属感

②交流による学習や治療への意欲の向上に向けた取組

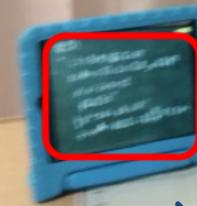
## 原籍校教室



## 原籍校からの授業配信 ～道徳～

### 病室

板書用タブレット



授業配信用タブレット

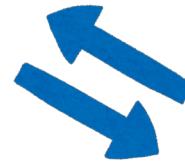


病室のプリンターでメールで送られた  
プリントを印刷

板書が見えにくかつたので、メールで写真を送ってもらい見やすくした

②交流による学習や治療への意欲の向上に向けた取組

## 原籍校体育館



### リモートカメラ

見たいところを指で  
フォーカスしたり、  
左右に動かしたり  
できる



## 原籍校からの授業配信

～文化祭～

### テレビ会議用タブレット



### リモートカメラ用タブレット

## 病室

②交流による学習や治療への意欲の向上に向けた取組

心のつながりを感じる、、、

# 「会いたかったよ」



②交流による学習や治療への意欲の向上に向けた取組

# 「がんばってね」「ありがとう」



②交流による学習や治療への意欲の向上に向けた取組

## 原籍校からの授業配信を終えて ～本人の感想～

友達と久しぶりに話すことができたり、  
顔を見ることができ楽しかったです。  
その場の雰囲気も楽しむことができて  
**気分転換**にもなりました。  
**元気をもらう**ことができ  
うれしかったです。



意欲アップ

②交流による学習や治療への意欲の向上に向けた取組

## 原籍校からの授業配信を終えて ～保護者の感想～

治療などでしんどい事も多いですが、  
こういうことがあると、  
**しんどい事を忘れて**  
**とても楽しそうにしている**  
姿を見られてとてもうれしいです。



②交流による学習や治療への意欲の向上に向けた取組

## 原籍校と繋いだ時間

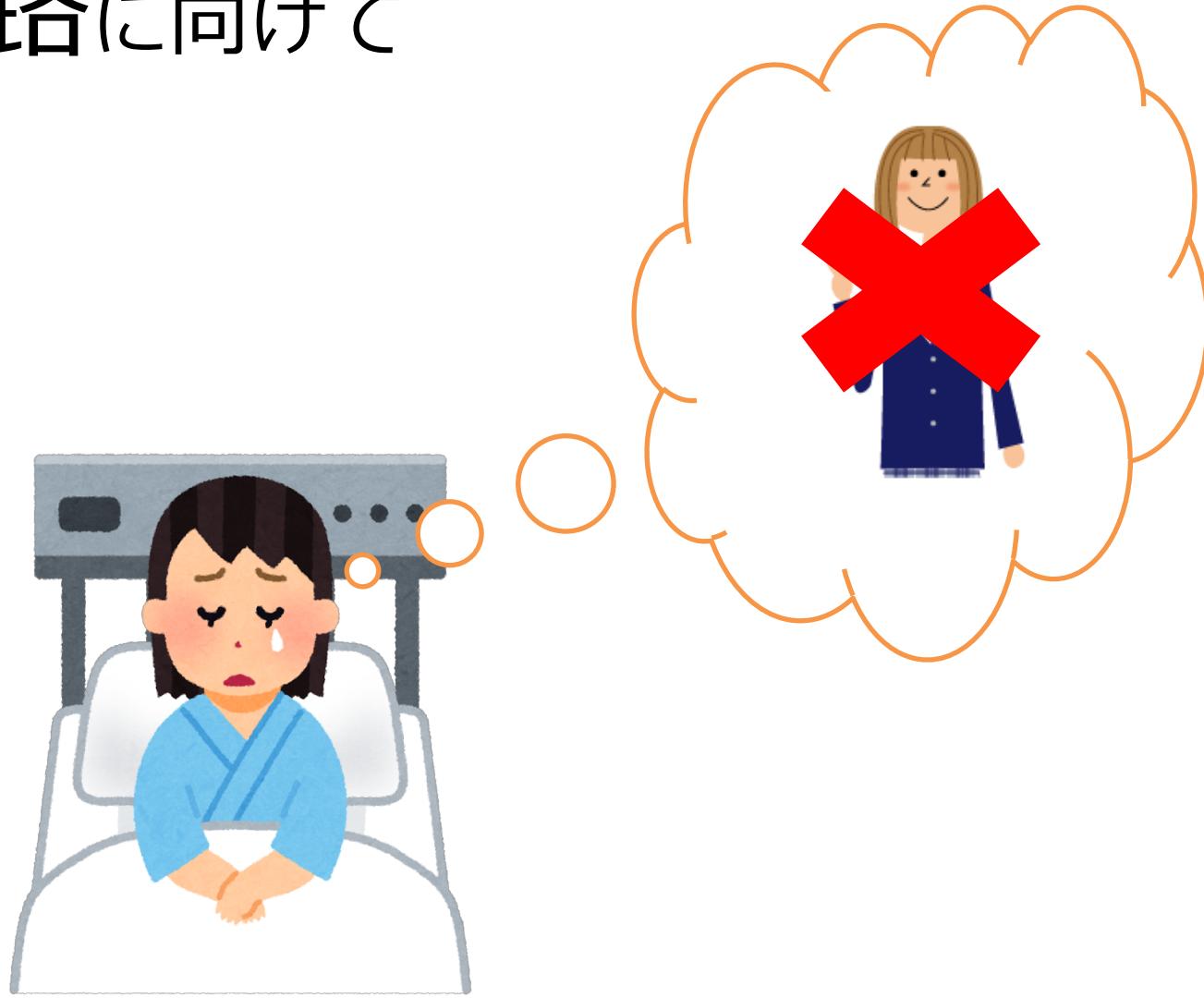
	日時	内容
1	7月19日 放課後	担任の先生とつなぎ
2	7月20日 放課後	生徒会とつなぎ
3	9月20日 5校時	道徳（担任の先生）
4	9月27日 2～4校時	文化祭
5	10月18日 5・6校時	高校の先生の出前授業 (英語・数学)
6	11月 7日 放課後	生徒会引継ぎ式
7	11月 8日 5校時	道徳（担任の先生）
8	12月20日 5校時	学年集会

②交流による学習や治療への意欲の向上に向けた取組

ねらい③

原籍校と連携した  
復学・進学に向けた取組

# 進路に向けて



③原籍校と連携した復学・進学に向けた取組

# 「テレビ会議なら繋げます」



主治医・桃陽教員・原籍校教員が揃って、いい時期にカンファレンスを持つことができ、関係者が正確に情報を共有できた。

③原籍校と連携した復学・進学に向けた取組

# 進路に向けて



## 両校からの進路情報

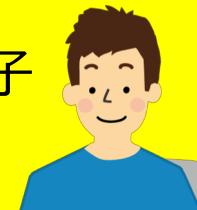
### 【桃陽】

- ・院内受検の方法
- ・高校の遠隔教育の可能性
- ・当校の高校生支援



### 【原籍校】

- ・生徒の中学生生活を踏まえて
- ・通学方法
- ・高校に通う先輩の様子  
など



③原籍校と連携した復学・進学に向けた取組

## 今後に向けて

### ○院内のどこにいても学習が保障されるようにしていく

最近、病棟が変わり、管理が厳しいところ・総室になった。

- ・今後の学習の場所・配信での交流や授業をする際の場の設定などを調整していく。

### ○高等学校進学に向けて

- ・高等学校の院内受検の方法などを主治医・原籍校との連携のもと進めていく。
- ・高等学校への進学・復学に向けてのカンファレンスなどの充実。
- ・病気治療による学習空白をどう埋めていくか。

最後に

## つながりの場

前向きに治療  
へ向かえる

退院後の生活に  
希望を持てる

気分転換

クラスの一員である  
という  
安心感

元気を  
もらえる

自分にあった  
学習方法を得る